

1 本年度の重点教育目標

よさを認め合いながら しっかり学ぶ北美原の子
～合言葉～ 元気いっぱい やさしさいっぱい かがやきいっぱい

2 本年度の取組の重点

①支え合い・高め合う集団を基礎とした授業改善を積極的に行う
 ②心に響く指導・支援を徹底して行う
 ③地域・家庭と一体となった取組を率先して行う

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

| 分野 | 評価項目 | 自己評価結果 | | 学校関係者評価 | | |
|-------------------------|--|--------|---|----------|----------|-------------------------------|
| | | 達成状況 | 改善の方策 | 自己評価の適切さ | 改善の方策の評価 | 主な意見（改善策など） |
| ① 授業改善を基とし、高め合う集団を築いていく | ○学び合いの充実を図る主体的・対話的・協働的に学ぶ授業の構築 | a | | A | A | |
| | ○基礎・基本の確実な習得と活用を図り、思考力・判断力・表現力等の学力の育成と定着 | b | 校内研究でも端末を活用した授業を計画し、授業改善に向けて取り組むことができたが、プログラミング教育との関わりを更に高めていきたい。 | A | A | |
| ② 心に響く指導・支援を徹底して行う | ○よりよい人間関係を醸成する教育活動の推進 | b | 挨拶と言葉遣いの指導については、教職員がよい手本となり更に指導を強めていきたい。 | A | A | |
| | ○「いじめ」「不登校」等の未然防止や早期発見・早期対応・対処 | a | | A | A | |
| | ○児童の人権を尊重し、体罰や虐待の徹底的な排除と根絶 | a | | A | A | |
| ③ 地域・家庭と一体となった取組を率先して行う | ○「学年×10分+10分以上」の家庭学習の習慣化 | b | 「家庭学習の手引き」を活用し、継続した指導に努めていく。 | A | A | |
| | ○中学校との連携の充実 | b | 中学校と連絡をより多く取り合い、活動を見える形にしていきたい。 | A | A | |
| | ○情報の提供と保護者・地域との双方向による連携の強化 | b | 学校からの情報発信だけではなく、保護者・地域の願いなどを取り入れていく体制を構築していきたい。 | A | A | |
| | ○コミュニティスクール（CS）の活性化 | b | CS開催の方法を工夫し、その取組を様々な場面で周知していきたい。 | A | A | 地域コーディネーターを配置するなどして、活性化を図りたい。 |
| | ○働き方改革（業務改善） | b | 時間外まで持ち越さない仕事量としていくよう、引き続き仕事内容を精選していきたい。 | A | A | |

■ 自己評価達成状況

| | |
|---|----------------|
| a | ほぼ達成できた（8割以上） |
| b | 概ね達成できた（6割以上） |
| c | 十分ではない（4割以上） |
| d | 達成できなかった（4割未満） |

■ 自己評価の適切さ及び改善の方策の適切さにかかる評価

| | |
|---|--------------------------------|
| A | 自己評価及び改善策は適切であり、取組を進めるべきである。 |
| B | 自己評価及び改善策は適切であるが、若干の修正は必要である。 |
| C | 自己評価及び改善策の方向性はよいが、若干の修正が必要である。 |
| D | 自己評価及び改善策を再度検討する必要がある。 |